うちのイチ押し!

大阪市こどもカーニバル 2015

いっしょに遊ぼう・家族・友だち・たのしい時間

市内の青少年団体などの協力を得て、
全市のこどもたちが家族や友だちと
楽しく遊べるこども同士の交流の場として、
わくわくドキドキの楽しい催しを行います!

- **セレモニー広場**
  こどもたちによる鼓笛隊やブラスバンド等の演奏などが行われます。
- **わんぱく広場**　スタンプラリー、ストラップ工作、エプロンシアターなど。
- **遊び体験コーナー**　紙飛行機チャレンジや火おこしの体験など。
- **模擬店など**　からあげ、やきそば、わたがし、ジュースなど。

こどもカーニバル会場

日時　4月26日(日) 10:30～15:00
※雨天中止(小雨決行)

場所　大阪城公園　太陽の広場、野球場
(JR「大阪城公園」、地下鉄「大阪ビジネスパーク」)

対象　こどもと家族(市外からの参加も可)

費用　入場無料(コーナーにより一部有料)　申込

お問い合わせ
大阪市子ども会育成連合協議会
電話：6941-1116(平日10:00～17:00)
FAX：6943-8906

大阪市 こどもカーニバルとは

市内の青少年団体などの協力を得て、青少年の健全育成を願い、昭和54年から開催されています。
広場中央で行う開会式(10：30～)では、小学生による開会宣言、中学生などによる式典演奏など、こどもたちが主役になって活躍し、さまざまな催しで、一日中笑顔と歓声があふれるカーニバルです。

おおさか歴史探訪 89

大阪の史跡や歴史資料を毎号連続でご紹介します。

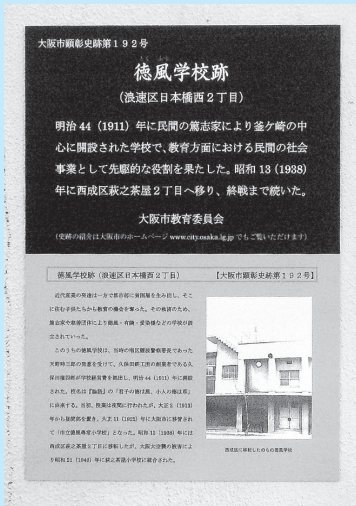
有隣学校と徳風学校

― 大阪の教育史に残る２人の篤志家 ―

４月は進入学の季節ということで学校教育に関する話題です。明治時代の中ごろ、全国一の紡績都市となった大阪は「東洋のマンチェスター」と呼ばれその繁栄を誇りましたが、その一方で都市部の下町には経済的な理由から学校に通うことのできない子どもたちが数多くいました。明治43(1910)年、着任したばかりの難波警察署長の天野時三郎はこうした状況の改善を決意し、それに賛同した新田帯革製造所(現ニッタ)創業者の新田長次郎(にったちょうじろう)、久保田鉄工所(現クボタ)創業者の久保田権四郎(くぼたごんしろう)の出資によって「有隣」・「徳風」の私立尋常小学校２校が明治44(1911)年に相次いで設立されました。校名は天野が『論語』からとり、有隣は「徳は孤ならず、必ず鄰有り」、徳風は「君子の徳は風、小人の徳は草なり」に拠っています。

新田長次郎の有隣尋常小学校は当初、木津に民家３棟を借りていましたが、明治45(1912)年に南区栄町四丁目(現浪速区浪速西四丁目)に新築移転、久保田権四郎の徳風尋常小学校も当初難波にあった久保田の工場を校舎としていましたが、同年からは南区広田町(現浪速区日本橋西二丁目)に移りました。大正６(1917)年には両校とも300名を越える生徒がおり、10名ほどの教員がいました。大正11(1922)年、大阪市は有隣・徳風の２校を市の直轄にすることを決定し、市立尋常小学校となりました。

(大阪市教育委員会　文化財保護担当)



徳風学校跡の顕彰パネル(広田保育所前)